

令和元年度東部地区小・中学校等「ステップ・アップ研修」実施報告

1 目的

小・中学校等「ステップ・アップ研修」は、初任者研修を踏まえるとともに、1年間の教員としての経験をもとに現職教員研修の一環として、実践的指導力と使命感及び幅広い知見等のより一層の向上を目的とする。

2 期日・会場

7月23日(火)、8月 2日(金)
〈午前〉越谷市中央市民会館
〈午後〉越谷市立越ヶ谷小学校

3 受講者数 280人
小学校教諭 173人
中学校教諭 107人

4 日程

〈第1日〉 7月23日(火)

【午前】

- ・開講式
- ・講義1「東部の教育を担う教員について」
講師：東部教育事務所教育支援担当・学力向上推進担当
主席指導主事 塚本 直樹
- ・講義2「教育公務員としての服務規律と不祥事の防止」
講師：東部教育事務所人事・学事担当
主席管理主事 鈴木 美幸
- ・講義3「生徒指導・特別支援教育に関する現状と課題」
講師：東部教育事務所 指導主事 長谷川 裕晃
- ・講義4「学級経営の充実」
講師：東部教育事務所 指導主事 須永 清司

【午後】

- ・協議1「生徒指導・特別支援教育に関する課題と指導の工夫」
- ・協議2「学級経営上の課題と指導の工夫」
指導講評：東部教育事務所指導主事

〈第2日〉 8月 2日(金)

【午前】

- ・講義5「道徳教育の充実」
講師：東部教育事務所 指導主事 山本 直人
- ・講義6「よい授業のポイント（授業づくりについて）」
講師：東部教育事務所 指導主事 木村 優二
- ・講義7「先輩に学ぶ」
講師：三郷市立彦郷小学校 教諭 渡邊 由美子
- ・受講者代表発表「教員生活2年目を迎えて」
発表者：春日部市立豊春中学校 教諭 関口 愛

【午後】

- ・協議3「道徳の時間における指導方法の工夫」
- ・協議4「学習指導における実践と今後の課題」
指導講評：東部教育事務所指導主事

5 内容・受講者感想

講義1 「東部の教育を担う教員として」

東部教育事務所教育支援担当・学力向上推進担当

主席指導主事 塚本 直樹

- 1 はじめに
- 2 東部の教育を担う教員として
 - (1) ステップ・アップしていますか
 - (2) 信頼される教師となるために
 - (3) 生徒理解と保護者理解
- 3 ステップ・アップ研修に臨むにあたって
 - (1) 「学び続ける教師」としての姿勢
 - (2) 横のつながりを大切に
- 4 おわりに



【受講者感想】

- ・1年前の自分と比べて、自分の成長や強みを考えることができました。また、同期の先生方との話し合いをとおして、生徒理解や保護者理解について改めて考えることができました。
- ・教育公務員としての自覚や、昨年自分が抱いていた熱い思いを再確認することができました。
- ・教員としてステップ・アップしていくために、感謝の気持ちをもって学び続けていきたいです。

講義2 「教育公務員としての服務規律と不祥事の防止」

東部教育事務所人事・学事担当

主席管理主事 鈴木 美幸

- 1 はじめに
- 2 教育公務員とは
- 3 教員としての心得
- 4 教員としての服務
- 5 おわりに



【受講者感想】

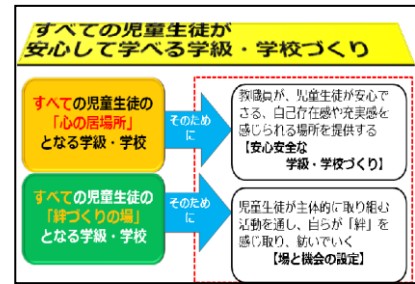
- ・これまでも、教育公務員としての自覚をもち、不祥事防止には注意を払ってきました。しかし、交通事故や会計事故、個人情報流出については身近に起こりうることであるので、十分に注意を払い、「報・連・相」を徹底していきたいと思いました。
- ・不適切な指導が減らないのは、教師としての使命感に課題があるからだと思います。今一度、服務について十分に確認しなければならないと痛感しました。私は、教師という仕事に誇りをもち、精進していく覚悟です。

講義 3

「生徒指導・特別支援教育に関する現状と課題」

東部教育事務所 指導主事 長谷川 裕晃

- 1 生徒指導
 - ・生徒指導とは
 - ・生徒指導が目指すこと
- 2 演習
- 3 特別支援教育
 - ・特別支援教育とは
- 4 おわりに



【受講者感想】

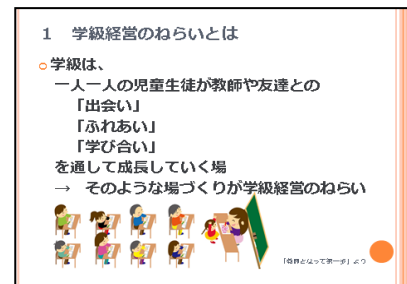
- ・子供たちに自己存在感を与えるために、学校生活の中で自己決定の場を意図的に設定していくことが大切であると学びました。
- ・具体的な事例をもとに、いじめに関する対応を学びました。アンテナを高くして、早期発見・早期対応に努め、組織で対応していく重要性を学びました。
- ・特別支援教育は、学校教育全体の土台につながると感じました。「チーム学校」で対応していきたいです。

講義 4

「学級経営の充実 ～学級経営のポイントと指導の工夫～」

東部教育事務所 指導主事 須永 清司

- 1 学級経営のねらい
- 2 学級経営のポイント
- 3 学級経営の指導の工夫
 - (1) 学級経営案の作成
 - (2) よりよい教室環境づくり
 - (3) 保護者との連携



【受講者感想】

- ・今年度初めて学級担任になりましたが、学級経営のポイントについて教わり、生徒指導の機能にもつながっているのだと気が付きました。2学期が楽しみです。
- ・子供たちが最も長い時間を過ごす学級を居心地よいものにすることで学校好きの子供を育てていきたいと感じました。
- ・保護者との連携は、一人で抱え込まずに、組織的に対応していくことが大切であると思いました。

協議 1

「生徒指導・特別支援教育に関する課題と指導の工夫」

協議 2

「学級経営上の課題と指導の工夫」

【受講者感想】

- ・多くの先生方と協議することで、日々の生徒指導に係る悩みを共有することができ、また、今後の指導に生かせるアドバイスもいただきました。
- ・特別支援教育について様々な立場の先生方と意見交換できたのがよかったです。
- ・子供たちの自己肯定感を高められるように、よく子供たちを観察し、認め励ましていきたいです。先生方の多くの実践を参考にしてよりよい学級を目指します。

講義 5

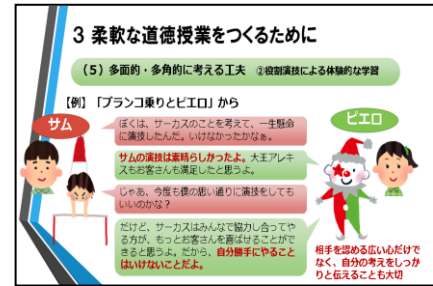
「道徳教育の充実～柔軟な道徳授業をつくるために～」

東部教育事務所 指導主事 山本 直人

- 1 はじめに
- 2 道徳科元年 知っておくべきこと
- 3 柔軟な道徳授業をつくるために
- 4 道徳科における評価
- 5 おわりに

【受講者感想】

- ・道徳のチェックシートで実際に自分の授業を振り返ることで自分自身の課題がよくわかりました。2学期からの授業改善に生かしていきます。
- ・今後は、特に発問の工夫を頑張ります。子供たちが自問自答できるような授業を目指していきたいです。
- ・子供たちに切実感をもたせる道徳の授業ができるようにするために、まずはどんな「問い」を発していくかについてよく考えていきたいです。
- ・道徳の授業では、「型」が示されていることが多いが、それに固執しすぎずに、自分の「軸」をもって授業ができるように取り組んでいきたいです。



講義 6

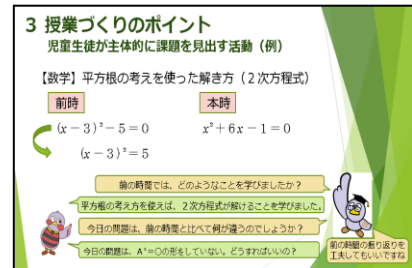
「よい授業のポイント（授業づくりについて）」

東部教育事務所 指導主事 木村 優二

- 1 はじめに
- 2 よい授業とは
- 3 授業づくりの前に
 - (1) 授業づくりの前提
 - (2) 児童生徒理解
 - (3) 教材研究
- 4 授業づくりのポイント
 - (1) 導入の工夫 (2) 展開の工夫 (3) 終末の工夫
 - (4) 評価に関する工夫・改善
- 5 おわりに

【受講者感想】

- ・「発問と板書が変われば授業は変わる」という言葉が心に残りました。授業のプロとしての自覚をもち、工夫・改善に努めていきます。
- ・よい授業を行うためには、まずは、学級経営をしっかりと進めていくことが重要だということがわかりました。
- ・授業づくりにおいて、導入では、子供たちの課題意識を十分に高めることが肝要であると改めて実感しました。また終末では、どの教科でも自分の言葉で振り返ることの重要性を学びました。



講義 7

「先輩に学ぶ」

三郷市立彦郷小学校 教諭 渡邊 由美子

- 1 学級経営
- 2 自分の役割
- 3 保護者対応
- 4 おわりに

【受講者感想】

- ・先輩の実体験が聞けて本当に良かったです。私は、子供との距離を縮めたいという思いが強かったので、けじめをつけながら指導をしていきたいです。
- ・道徳の授業の映像を見ることができ、授業への心構えなどを学ぶことができました。私も渡邊先生のようになりたいと思いました。
- ・先生が繰り返しおっしゃっていた「学校は組織」ということを意識し、何かあったときは、一人で解決しようとせずに学年主任や管理職の先生方に「報連相」をすることが大切であると思いました。



受講者代表発表

「教員生活2年目を迎えて」

春日部市立豊春中学校 教諭 関口 愛

- 1 春日部市について
- 2 春日部市立豊春中学校について
- 3 教員2年目の実践について
- 4 これからについて

【受講者感想】

- ・学校の教育理念に基づいた指導実践を聞くことができ、同期として良い刺激を受けました。私もチームの一員として貢献したいです。
- ・常に目標をもち、それに向かって努力を惜しまない姿に感銘を受けました。自分も頑張ります。
- ・勤務されている学校のレベルの高さに感銘を受けました。目標にしていきたいです。

2年目の実践

- ◇英語の授業で学級・学年作り
- ◇「個」を育て、協力できる集団へ
- ◇家庭との連携
- ◇私の目指すゴール

協議 3

「道徳の時間における指導方法の工夫」

協議 4

「学習指導における実践と今後の課題」

【受講者感想】

- ・道徳の時間における発問や切り返しの仕方等について、多くの実践例を聞くことができ、授業実践に係る不安なところを解消することができました。
- ・考え議論する道徳を実践していくためには、学級経営が基盤になることが分かりました。よりよい道徳の授業に向けて、学級経営を充実させていきたいです。
- ・子供をよく見て授業をつくることを常に意識し、主体的・対話的で深い学びのある授業を目指していきたいです。
- ・レポートを読み合い、様々な実践を学ぶことができました。学習指導要領を読み込んで、授業改善に努めたいです。

6 感想記入用紙から

<第1日>

質問項目	回答 (%)				平均
	4	3	2	1	
1 研修に意欲的に参加することができた	87.2	12.4	0	0.4	3.86
2 研修の内容は、実践的で役立つものだった	82.5	16.2	1.3	0	3.81
3 研修に参加して疑問や不安を解消できた	71.4	26.5	1.7	0.4	3.69
4 研修で学んだことを今後に生かしたいと思う	93.6	6.0	0.4	0	3.93
5 研修に満足している	84.6	14.1	0.9	0.4	3.83

<第2日>

質問項目	回答 (%)				平均
	4	3	2	1	
1 研修に意欲的に参加することができた	93.5	6.2	0.4	0	3.93
2 研修の内容は、実践的で役立つものだった	91.5	8.5	0	0	3.92
3 研修に参加して疑問や不安を解消できた	77.7	20.4	1.9	0	3.76
4 研修で学んだことを今後に生かしたいと思う	93.1	6.9	0	0	3.93
5 研修に満足している	91.2	8.5	0.4	0	3.91

*両日ともに、4（あてはまる） ←————→ 1（あてはまらない）

7 成果

(1) 講義について

- ・講義内容は、今後の指導につながるような実践的かつ豊富な内容を設定できた。
- ・講義「先輩に学ぶ」では、多くの実践を重ねてきた先生が実体験に基づいた話が中心であったため、受講生には身近に感じられ、意欲的に受講することができた。
- ・受講者代表発表「教員生活2年目を迎えて」では、自分たちと同じ2年次の教員からの話ということで、受講生には良い刺激となり、また自分自身を振り返る良い機会となった。

(2) 協議について

- ・午前中の講義内容と、午後の協議テーマをリンクさせて実施したので、受講生は意欲的、主体的に協議に臨むとともに積極的な交流・対話ができた。
- ・グループ協議は、班長を中心に協力し合い、授業力の向上や悩みの共有など充実した内容にすることができた。

8 課題

(1) 期日・日程について

〈欠席者の削減〉

- ・欠席者は、1日目が33名、2日目が12名。欠席の主な理由は、林間学校引率（小学校）や、部活動の大会引率（中学校）であった。他事業との日程調整を十分に行っていく必要がある。

(2) 研修内容について

〈研修内容の工夫改善〉

- ・来年度は、学習指導要領の改訂の趣旨を適切に伝えるとともに、受講生のニーズにも対応できるよう、研修の実施方法や内容について工夫・改善していく必要がある。